

伊賀市議会行政視察報告書

伊賀市議会議長 空森栄幸様

報告者

議員名 上田宗久

参加者名

岩田佐俊 川上善幸 信田利樹 北森徹 上田宗久

①

視察日時

2月21日14時～15時30分

視察先

玉名市議会事務局

視察事項

玉名市6次産業推進事業の取り組みについて

②

視察日時

2月22日13時30分～15時

視察先

久留米議会事務局

視察事項

セーフコミュニティ事業について

①6次産業=1次産業\*2次産業\*3次産業

上に示した6次産業概念の捉え方は、農林水産業・農山漁村に潜在する「地域資源」を有効活用し、(農林水産業)\* (製造業)\* (小売業)を融合・連携させることにより「付加価値」を生み出し、地域ビジネスの展開や新産業の創出を図ることで「農業・農村の活性化を推進すべきである」という理念に基づいたものである。伊賀神戸駅を朝8時前に出発して昼1時過ぎに新幹線新玉名駅に着くや、駅の構内売店が目につく、聞くと地元観光協会の指定管理先の「ご当地売店」である。早速店員から声をかけられ、土産物を購入してしまった。玉名市の人口の16,7%が1次産業の就業人口で主な農産物の販売実績は152億900万円あまりで玉名市の土地利用実態の50%は田と畑である。それも平成7年以降、農業経営の大規模化が進んでいる。それも施設園芸が8割を占めている。

大規模農家には国・県の総合化計画、6次産業化ネットワーク交付金が用意されている。また中小規模農家、個人には玉名市6次産業推進補助金が出されている。これまで開発された加工品は70品目以上で補助金実績はこの6年間・31事業者で2,727万円に達している。

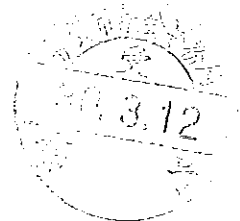
事業者が克服すべき課題と支援については、経営者感覚を持つこと、生産管理と営業力、マーケティング能力、知識の向上、商品の改良努力などで事業者が成長を実感できる仕組みを作ることが今後の課題である。また同時に行政に求められていることはあくまでも主体は事業者であること、行政の役割は事業者を上手に後押しすることで市全体として活性化に結びつけることである。

②「セーフコミュニティ国際認証都市久留米市平成25年12月21日に誕生した。

認証取得から今日までセーフコミュニティに関連する久留米市の予算は43億2040万円に上がっている。セーフコミュニティとは最初は何のことかわからなかったが、説明を聞くうちに怪我や事故は偶然の結果ではなく、原因を取り除くことによって、またいろんなデータを分析してから予防策を考えているから、そのあとの効果も確認しながら、しっかり見直しをしているから怪我や事故は防げる。「安全安心の向上」は横断的な連携体制=セーフコミュニティ推進協議会の重点取り組み分野の対策委員会は①交通安全②児童虐待防止③学校安全④高齢者の安全⑤防犯⑥DV防止⑦自殺予防⑧防災の8分野にわたっている。①では、子供たちの自転車事故や高齢者の交通事故を予防するため、年齢に応じた交通安全教室や自転車利用のマナーアップなどを実施。自転車事故件数9.8パーセント減少。②では学校内での怪我や事故を予防するため、危険な場所を意識できる掲示板の作成や校区内の危険な場所をまとめた「校区安全マップ」を作成。上津小学校でのケガの発生件数43.2パーセント減少。③では、認知症の人や家族を地域や職域などで暖かく見守る「認知症サポーター」を養成。認知症サポーター養成講座受講者数が4.3倍に増加。④では、地域や人が多く集まる場所での犯罪を抑止するため、青色防犯パトカーによるパトロールを実施。中学生や高校生を対象にデートDV防止の啓発講座を実施。一般刑法犯の認知件数、26.1パーセントの減少⑤では、自殺を予防するため、自殺のサインに気づき相談窓口につなぐ「ゲートキーパー」の養成や、関係機関と連携して支援する体制づくりの取り組み。25名の方が減少するも未だに50名以上の方がなくなっている。⑥地域による防災力を向上するため、各校区で自主防災訓練の実施や、自力や家族の協力では避難できない人の個別支援計画を作成しています。自主防災訓練の回数・参加者数2.3倍に増加。活動自体は個別にはどこでもやっている内容であるが、みんなで取り組む安全・安心のまちづくりとして計画性の連携した活動を推進協議会（会長が市長）が全市的な連絡調整役を担い著しい成果を上げている。本市でも、行政がこのように各種団体に呼びかけて企画調整役を果たして推進していくことが求められているのではないかと感じ入った次第である。

費用

55,800 円



## 旅費請求書続紙(自民伊賀・自民爽風クラブ)

出張月日	出発地	経路	到着地	鉄道・船・車賃				食卓料	日当		宿泊料		出張理由 (目的・場所)
				料程	運賃	特急料金 急行料金	寝台料		日数	額	宿泊	額	
2月21日	伊賀神戸	近鉄	鶴橋	74.4	1,070	900						玉名市 行政視察 玉名市6次産業推 進事業の取り組み について 14:00~15:30	
	鶴橋	JR	新大阪	11.5									
	新大阪		博多	622.3									
	博多	JR 新幹線	新玉名	90.4	9,270	7,230		1	1,500	1	14,800		
2月22日	新玉名	JR	久留米	54.7		2,050			1	1,500		久留米市 行政視察 セーフティコミュニ ティ事業の組み みについて 13:30~15:00  【自費にて宿泊】	
2月23日	久留米	JR 新幹線	新大阪	658.0		6,240							
	新大阪	JR	鶴橋	11.5	9,270								
	鶴橋	近鉄	伊賀神戸	74.4	1,070	900							
計					円	円	円	円		円	円	合計	
					20,680	17,320				3,000	14,800	55,800	

※21日の宿泊料は1泊2食付15,000円であったが、宿泊料については14,800円を上限としての実費精算のため、14,800円のみ請求する。

※22日の宿泊は、旅費事務の手引「後泊」の規定により認められないため、自費での宿泊となった。  
(後泊は起点への帰着時刻が午後10時以降となる場合等に認めることができる)

領収書等添付用紙	議員名	上田 泉久
調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に〇をつけてください。)		

領 収 書		No. 002455						
伊賀市議会 市民伊賀・自民党伊賀支部 会派 泉久様		H30年2月14日						
¥	<table border="1"> <tr><td>百</td><td>千</td><td>円</td></tr> <tr><td>2</td><td>9</td><td>365</td></tr> </table>	百	千	円	2	9	365	也
百	千	円						
2	9	365						
但(5名分)								
三重県知事登 第2-215号 東海ツリーランド株式会社 三重県伊賀市荒木322-1 TEL (0595) 26-0451 FAX (0595) 26-0452								
担当者 [Redacted]	[Redacted]	2.00						

領 収 明 細	
現 金	26,936.5
小 切 手	
	26,936.5

\* 領収証金額 269,365円 ÷ 議員5名分 = 1人当たり 53,873円

\* 1人当たり 53,873円 のうち 保険代 393円 と 取扱料 500円 は 請求しない。

※ 領収書原本は岩田依佐議員の報告書に添付。

# 写 請 求 書

請 求 書 No : 28403 -2  
 申 込 カ ル テ No : 27336  
 発 行 日 : 2018/3/5

伊賀市議会・自民伊賀・自民爽風クラブ・会派視察団 様

三重県知事登録旅行業 第2種-215号  
 東海ツーリスト株式会社

コース名: 九州

伊賀営業所  
 〒518-0818 伊賀市荒木322-1

TEL 0595-26-0451 FAX 0595-26-0452

出発日: 2018年2月21日(水)

代 表 取 締 役 : 伊藤 正次  
 総 合 旅 行 業 務 取 扱 管 理 : XXXXXXXXXX  
 担 当 者 : XXXXXXXXXX

下記料金のご請求を申し上げます。

No.	項目	単価	数量	金額	備考
1	往復・近鉄乗車券	2,140	5	10,700	私鉄運賃(大人)
2	往復・近鉄指定券	1,800	5	9,000	私鉄特急料金(大人)
3	往復JR乗車券(大阪-新玉名)	18,540	5	92,700	往復JR運賃(大人)
4	のぞみ9号	7,230	5	36,150	JR特急料金(大人)
5	つばめ318号	2,050	5	10,250	#
6	さくら554号	6,240	5	31,200	#
7	ホテルしらさぎ	15,000	5	75,000	宿泊費(税込)
8	旅行傷害保険	373	5	1,865	旅行傷害保険
9	旅行取扱料金	500	5	2,500	旅行取扱料金

備考  
 ※ 恐れ入りますが振込手数料は、お客様  
 ご負担にてお願い申し上げます。

合計	¥269,365
お預り金額	¥0
ご請求金額	¥269,365

お支払は弊社下記口座へ 2018年3月15日 までにお振りこみください。

【お振込先】  
 第三銀行 久居支店 普通  
 トウカイツーリスト(カ)